

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちいつな 八千代高津教室			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 28日		～	2025年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年 3月 28日		～	2025年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの気持ちを受け止め理解し支援することができる	アセスメントを軸としつつ、日常の支援の中で、一人ひとりの気持ち受け止め、その日の状態などを理解した上で支援にあたっています	職員間や教室と保護者間で情報を極力共有し合うことで、細やかな支援ができるように努めています
2	保護者のニーズや思いを受け止め、共感し合い支援をする	サービス提供記録や送迎、面談を通して、保護者のニーズや思いを受け止め、支援にあたっています	その日その日の子どもたちの姿を受け止め、理解し、安心して過ごせる居場所としてあり続けられるようにします。その中で、得意なこと、苦手なこと、個々の狙いであることを意識し、多くの経験ができるようにしていきます
3	自分の好きな遊びを見つけ、遊びの中により発達を支援できるような環境を整える	日常の支援の中で、まず自分の好きな遊びが見つかるように一人ひとりの興味関心を見つけ、興味のある事柄への取り組みを通して、個々の支援計画が達成していけるようにと支援しています	子どもたちの状態に応じた支援ができる職員と体制作りをしていきます

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域間連携、他機関との連携不足	1年目ということもあり、余裕がなかったため、自施設で完結するプログラムが多かったため	今後は他事業所や、専門機関と積極的にかかわり地域で連携して支援が行える体制を取っていきます
2	保護者参加プログラムや保護者への発信力の弱さ	児童を中心としたプログラムが多かったため	保護者参加イベントの企画立案や、安全面や衛生面での教室での取り組みの発信を強化
3	突発的な問題への対応や、保護者からの要望に対して、スタッフ全員が十分に答えられるようにしていく	児発、放デイ未経験のスタッフが多かったため	MTGや勉強会などを通して、一人ひとりの子どもに適切な支援が行えるように、スタッフ一同日々研鑽し、スキルと共に人間性を高めていきます